

スペイン語基礎 留学生センター 教授 山下 好孝

■シラバス

授業の目標 Course Objectives

スペイン語の初歩をマスターしたものを対象とする。スペイン語の基礎的知識をマスターする。

到達目標 Course Goals

直説法点過去形の動詞をすべてマスターする。これにより辞書を引きながらスペイン語の新聞が読める力を養成する。

授業計画 Course Schedule

- 10 月：再帰動詞
- 11 月：点過去規則形
- 12 月：点過去不規則形
- 1 月：他の時制の変化

成績評価の基準と方法 Grading System

毎回行う小テスト(50%)と期末テスト (50%)

■授業の取組・工夫等について

私が担当するスペイン語の授業に関して報告を書くのは今回が 2 回目である。1 回目は平成 15 年度の授業に関してで、その内容は以下のアドレスに掲載されている。

<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/tenken/hokoku/2005/student-evaluation2/yamashita.pdf>

今回、改めて自分の過去の報告に目を通して見たが、基本的には授業の目標、内容などは 7 年前とほとんど変わっていない。しかし、この間大学の第二、三外国語を取り巻く環境が様々に変化してきている。あえて書かせていただくなら、外国語教育の「画一化」が進んでいるように思う。

北大の全学教育の外国語科目では

- 1) 統一試験の導入
- 2) 統一教科書の導入
- 3) 統一評価（相対評価）導入

が導入されるようになった。今後予想されるのは

- 4) 統一シラバスの導入

の導入で、どの先生も何回目の授業には何を教えるかが定められ、教師は淡々とメニューをこなしていくだけになる。そして最後には

- 5) 統一教師の導入

ということが現実のものになるかもしれない。すなわち画一化が進みすぎた某外国語科目は学生の人気を失い、履修者が激減し、担当教員の数が減ってしまう。最後の一人になった当該言語の担当者は結果的に「統一教師」になるのである。

このまま「画一化」の道を進むことが学生のためになるのだろうか。他方、学生たちも自分たちの利害に基づく「公平、不公平」を主張しすぎたためにこのような画一化の方向に向かっているのだと自覚すべきではなかろうか。

以上のような認識から「多様性」につながるスペイン語教育の実践を目指してきた。その一環として、北大の元同僚である森淳子先生と共同でスペイン語の教科書を作成した。その教科書には CD-ROM がついており、音声だけでなくイラスト画像なども入れた。それらを授業でも使っている。現在では、北大の全学教育で使用する各教室にはプロジェクターがすべて備え付けられ、マルチメディア教材が使いやすくなったからである。従来の紙製のフラッシュカードに加え、ノートパソコンに納めたマルチメディア教材を有効に活用できるようになった。

ただし、この開発した教科書はあまりに独自色が強いので、他の教育機関では全くと

っていいほど売れていない。

もう一つの工夫としては、スペイン語を話す留学生たちをお願いして、授業に来てもらっていることである。北大には 1400 名を超える留学生が在籍している。その中にはスペイン、中南米からも、たくさんの留学生が来ている。彼らを活用しない手はない。以上、報告と称しながら、私の日頃思っていることを書きつらねてしまった。お読みになった方の忌憚のない意見を聞かせていただけたら幸いである。

連絡先 yama@isc.hokudai.ac.jp

■学生の自由意見（良かったと思う点）

- ・ PCを使っていたところ。先生の語り口が面白く楽しくスペイン語を学べたこと。発音・会話練習に重点を置いていた所。
- ・ 他のスペイン語の授業に比べて説明が丁寧であった。
- ・ たくさんしゃべるから、自然に頭に入ってきた気がする。
- ・ 大学の授業の中でも、最も親身な授業に感じ、楽しく受けることができました。
- ・ 教え方が独得だが、大変分かりやすかった点。動詞の変形の覚え方など、分かりやすく、学生のことを考えている進め方だと感じた。
- ・ 学生たちが積極的に復習するのを促すというのはとても良かったと思います。
- ・ 小テストをしてくれたのも、授業中にたくさんあててくれて積極的に全員が授業に参加できるようにしてくれたのも、とても楽しくてためになる授業でした。
- ・ 発音に重点を置いているので、過去形を発音によってうまく覚えることができた。
- ・ ひたすら楽しかった上、学習意欲も刺激されました。説明もわかりやすかったです。理解しやすい授業でした。ありがとうございました。
- ・ 山下先生は北海道大学一の先生だと思います！
- ・ こんな授業を大学で受けられるとは思ってもみませんでした。「双方向型」の授業とは何かを教えてもらったような気がします。
- ・ 独学では学ぶことが難しい、発音をチェックし直してくれる。効果的な語学の学習方法であると思う。
- ・ ・単語カードやPCの絵カード、単語のスライドなどがおもしろかったです。
- ・ スペイン語の基礎を1から学ぶことができた。応用よりも基本に重点がおかれていたので、わかりやすかった。
- ・ 繰り返し声に出して練習することで動詞変化が定着した。
- ・ 色々な工夫がなされていてとても面白かったです。
- ・ 発音の間違いをしてきしてくれた点。
- ・ スペイン語の文法と発音を詳しく教えてもらいました。
- ・ 先生がおもしろい！！すごかったのしかった。
- ・ 楽しかったです。まちがってもそれが楽しいところが良いです。
- ・ 大変面白く、スペイン語について、もっと勉強したいという意欲が湧いてきます。メキシコ、スペイン、さらにブラジルの世界についても伺うことができました。